

「造影剤の管理状況に関するアンケート」

アンケートご協力をお願い

日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会（PSP）薬剤安全部会（以下、PSP 薬剤安全部会）では、昨年度より各施設の常備薬管理の状況を把握し、今後の病棟等における常備薬の適切な管理を行うための活動に繋げることを目的にアンケートを実施しています。本アンケートでは、病棟、外来、手術室、放射線部門等に常備薬として配置している造影剤の管理や運用方法についてお伺いいたします。

PSP 薬剤安全部会でいう「常備薬」とは、薬剤部門以外に配置され、薬剤師による調剤を介さずに各部門において使用することが可能な薬剤のことを指します。たとえ処方箋・注射箋（オーダー入力）による使用であっても薬剤師の調剤を介さずに使用できる配置状態（病棟のサテライトファーマシー等も含む）であれば同義とします（救急カートも含む）。

本アンケートでご回答いただいた内容については集計結果を公開いたしますが、病院名および回答者が特定できないようにいたします。

なお、PSP 薬剤安全部会は、病院機能評価事業とは独立した活動であり、本アンケートの回答が日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の受審・判定において過去および将来にわたり一切影響いたしませんことを申し添えます。

2021年5月26日

日本医療機能評価機構 患者安全推進協議会（PSP）薬剤安全部会
部会長 川井 信孝

回答方法

① Web上の回答フォームにてご提出ください。

アクセス方法協議会ホームページURL：<https://www.psp-jq.jcqhcc.or.jp/>

「新着情報」または、TOP>協議会案内>お知らせ



② ご回答期限 2021年7月16日（金）まで

③造影剤の管理や常備配置についてお伺いします。

③-1 造影剤を管理する部門は決まっていますか。

決まっていない（→設問③-3へ）

決まっている

③-2 「決まっている」を選択した方にお伺いします。それはどの部門ですか？（複数回答可）

放射線部門

看護部門

薬剤部門

その他（）

③-3 常備配置している部門はどこですか？（複数回答可）

放射線部門 CT 室

放射線部門 MRI 室

放射線部門上記以外

血管造影室

内視鏡部門

カテーテル検査室

透視室

薬剤部門

資材部門（用度部門）

外来

救急外来

救急救命センター

手術室

ICU

CCU

NICU

NCU（SCU）

その他（部門名：）

配置していない

③-4 「放射線部門上記以外」を選択した方にお伺いします。常備配置している場所をお答えください。

（）

③-5 「外来」を選択した方にお伺いします。常備配置している科・部門名をお答えください。

（）

③-6 常備配置する場合の要件、基準や制限などのルールはありますか？

ない

ある

(具体的な内容:)

③-7 常備配置する際の管理方法、表示や置き方の工夫についてお伺いします。(複数回答可)

施錠して管理している

専用のカートを用いて管理している

投与部位別に区分して管理している

造影剤のバーコードを利用している

その他(上記以外に工夫していること:)

特に何もしていない(→設問③-9へ)

③-8 上記以外の配置に関する管理方法、表示や置き方の工夫について何かあればお答えください。

()

③-9 常備配置する際の点検についてお伺いします。

特に点検はしていない(→設問④-1へ)

定期的な点検をしている

③-10 「定期的な点検をしている」を選択した方にお伺いします。どのように点検していますか？(複数回答可)

定数を確認して記録簿に記録している

点検は看護師が行っている

点検は薬剤師が行っている

点検は看護師と薬剤師が同時に行っている

点検は看護師と薬剤師が別々に行っている

点検は診療放射線技師が行っている

その他()

③-11 (定数を確認して記録簿に記録している場合) 記録の頻度をお答えください。

毎日

週1回

月1回

その他()

③-12③-7 以外の造影剤の管理や投与について薬剤師（薬剤部門）の関与はありますか？

ない

ある（関与していることの内容： _____）

④ 造影剤の指示出しについてお伺いします。

④-1 造影剤の指示出しは誰が行いますか。（複数回答可）

医師

包括指示を受けた看護師

包括指示を受けた診療放射線技師

その他（ _____）

④-2 造影剤の指示出し時の安全対策や工夫はありますか？

ない（→設問⑤-1 へ）

ある

④-3 「ある」を選択した方にお伺いします。どのような安全対策や工夫をしていますか？（複数回答可）

電子カルテの注射オーダーリングシステムを利用している

電子カルテの画像オーダー時に同時にオーダーしている

紙面による造影剤指示書を利用している

紙面による造影検査指示書内で同時に指示できる

腎機能を事前にチェックできる仕組みがある

造影剤アレルギー・副作用情報を事前にチェックできる仕組みがある

メトホルミン製剤をチェックできる仕組みがある

β 遮断剤服用有無をチェックできる仕組みがある

禁忌病名（甲状腺疾患など）をチェックできる仕組みがある

その他（上記以外に行っている安全対策や工夫の内容 _____）

④-4 「電子カルテの注射オーダーリングシステムを利用している」を選択した方にお伺いします。

それは、全例に適用ですか。一部例外の取り扱いもありますか（部署別の伝票運用併用、薬剤別のオーダー方法併用 等）。

緊急例なども含めて全例に適用

一部例外の取り扱いもある

（具体的な内容： _____）

④-5「電子カルテの画像オーダー時に同時にオーダーしている」を選択した方にお伺いします。
それは、全例に適用ですか。一部例外の取り扱いもありますか（部署別の伝票運用併用、薬剤別のオーダー方法併用 等）。

緊急例なども含めて全例に適応

一部例外の取り扱いもある

（具体的な内容： _____）

④-6「紙面による造影剤指示書を利用している」を選択した方にお伺いします。

それは、全例に適用ですか。一部例外の取り扱いもありますか（部署別の伝票運用併用、薬剤別のオーダー方法併用 等）。

緊急例なども含めて全例に適応

一部例外の取り扱いもある

（具体的な内容： _____）

④-7「紙面による造影検査指示書内で同時に指示できる」を選択した方にお伺いします。

それは、全例に適用ですか。一部例外の取り扱いもありますか（部署別の伝票運用併用、薬剤別のオーダー方法併用 等）。

緊急例なども含めて全例に適応

一部例外の取り扱いもある

（具体的な内容： _____）

④-8「腎機能を事前にチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（ _____ ）

④-9「造影剤アレルギー・副作用情報を事前にチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（ _____ ）

④-10「メトホルミン製剤をチェックできる仕組みがある場合」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（ _____ ）

④-11「 β 遮断剤服用有無をチェックできる仕組みがある場合」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（ _____ ）

④-12「禁忌病名（甲状腺疾患など）をチェックできる仕組みがある場合」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤造影剤の準備や投与についてお伺いします。

⑤-1 造影剤の準備や投与は誰が行いますか？（複数回答可）

- 医師
- 看護師
- 薬剤師
- 診療放射線技師
- 補助者（診療、看護アシスタントなど）
- その他（）

⑤-2 造影剤の準備時・投与時の安全対策や工夫はありますか？

- ない（→設問⑥-1へ）
- ある

⑤-3（ある場合）どのような安全対策や工夫をしていますか？（複数回答可）

- 患者誤認を防止できる仕組みがある
- 薬剤バーコードを活用した承認システムがある
- 腎機能を事前にチェックできる仕組みがある
- 造影剤アレルギー・副作用情報を事前にチェックできる仕組みがある
- メトホルミン製剤をチェックできる仕組みがある
- β 遮断剤服用有無をチェックできる仕組みがある 禁忌病名（甲状腺疾患など）をチェックできる仕組みがある
- 特定の背景を有する患者等注意が必要な患者（旧：慎重投与に該当する患者）へは医師が立ち会っている
- 造影剤漏出対策を講じている
- その他（上記以外に行っている安全対策や工夫の内容：）

⑤-4「患者誤認を防止できる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。

外来では、どのような仕組みがありますか？（複数回答可）

- 患者識別バンド装着
- 患者バーコードの承認システム
- 患者本人が名前を名乗る
- 診察券や予約票等で確認
- その他（）
- 仕組みはない

⑤-5「患者誤認を防止できる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。

入院では、どのような仕組みがありますか？（複数回答可）

患者識別バンド装着

患者バーコードの承認システム

患者本人が名前を名乗る

診察券や予約票等で確認

その他（）

仕組みはない

⑤-6「薬剤バーコードを活用した承認システムがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-7「腎機能を事前にチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-8「造影剤アレルギー・副作用情報を事前にチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-9「メトホルミン製剤をチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-10「 β 遮断剤服用有無をチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-11「禁忌病名（甲状腺疾患など）をチェックできる仕組みがある」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-12「特定の背景を有する患者等注意が必要な患者（旧：慎重投与に該当する患者）へは医師が立ち会っている」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

（）

⑤-13 「造影剤漏出対策を講じている」を選択した方にお伺いします。具体的な内容をお答えください。

()

⑥造影剤投与による急変時対応の安全対策や工夫の状況について伺います。

⑥-1 急変時対応の安全対策や工夫はありますか？

ない (→設問⑦-1 へ)

ある

⑥-2 「ある」を選択した方にお伺いします。どのような安全対策や工夫をしていますか？(複数回答可)

救急カートを準備している

アナフィラキシー発生時に対応できる体制を整備している

β 遮断剤服用患者対策として、グルカゴン注を準備している

急変時対応の訓練等を実施している

その他 ()

⑥-3 (アナフィラキシー発生時に対応できる体制を整備している場合) 具体的な内容をお答えください。

()

⑦-1 脳槽・脊髄系など、血管以外に投与する造影剤について伺います。どのような安全対策や工夫をしていますか？

ない (→設問⑧へ)

ある

⑦-2 「ある」を選択した方にお伺いします。どのような安全対策や工夫をしていますか？(複数回答可)

脳槽・脊髄系など血管以外に投与する造影剤は常備配置していない。

投与経路が異なる造影剤は違う場所に別々に配置している。

脳槽・脊髄系の造影剤は施錠管理して配置している。

その他 ()

⑧造影剤の分割使用をしていますか？

していない

している(分割使用や運用の方法：)

※差し支えなければ範囲でお答えください。

⑨このアンケートの内容全体を通して補足説明や特記すべきことがございましたら、どのようなことでも結構ですのでご記入ください。(自由記載)

- ・システムや製剤の採用、現在の管理体制に至った経緯
- ・貴院での取り組みや工夫していること
- ・困っていること

など

()

フェイスシート

【回答者の所属する病院の情報】

1. 都道府県

2. 病床数

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床～500床未満

500床～600床未満

600床以上

3. 病院の機能

特定機能病院

特定機能病院以外の高度医療・三次救急を担っている病院

急性期医療中心の病院

慢性期医療中心の病院

回復期リハビリ中心の病院

精神科中心の病院

緩和ケア中心の病院

その他

【回答者の情報】

1. 職種

医師

薬剤師

看護職（保健師・助産師・看護師）

診療放射線技師

臨床工学技士

臨床検査技師

リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

事務職

その他（ ）

2. 医療安全に関する役割（*）

専従

専任

兼任

その他（ ）

*

専従：医療安全業務に従事する時間の割合が8割以上

専任：医療安全業務に従事する時間の割合が5割以上

兼任：医療安全業務に従事する時間の割合が5割未満

3. 回答者氏名

4. 回答者所属施設名

5. 回答者連絡先（e-mailアドレス）

以上です。ありがとうございました。

ご記入いただいた個人情報については、当機構の個人情報保護方針に基づき、安全かつ、適正に管理いたします。